

ベンチャー・中小・中堅企業向け 支援事業の紹介

2018年9月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） イノベーション推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアムザ川崎セントラルタワー（総合受付16F）
TEL：044-520-5170 FAX：044-520-5177 E-mail：inv-caravan@nedo.go.jp

NEDOとは



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDO (New Energy and Industrial Technology Development Organization)

- 日本最大級の公的研究開発マネジメント機関
・経済産業省所管・職員数926名（2018年4月1日現在）
- NEDOのミッション
・エネルギー・地球環境問題の解決 ・産業技術力の強化

NEDOにおける研究開発事業の概要

ナショナルプロジェクト

- 新エネルギー分野
- 電子・情報通信分野
- 省エネルギー分野
- 材料・ナノテクノロジー分野
- 蓄電池・エネルギーシステム分野
- ロボット技術分野
- クリーンコールテクノロジー(CCT)分野
- 機械システム分野 等

テーマ公募型事業

次世代プロジェクトシーズ発掘事業

- NEDO先導研究プログラム
研究開発プロジェクト(ナショナルプロジェクト等)の創出

研究開発型ベンチャーの起業家支援事業

- 研究開発型ベンチャー支援事業

研究開発成果の実用化・事業化支援

- ベンチャー企業等による
新エネルギー技術革新支援事業
- 戦略的省エネルギー技術革新プログラム
- 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業
- 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業 等

シーズ発掘から事業化までシームレスに支援を行うNEDOのプラットフォーム



研究開発成果の実用化・事業化支援事業

⇒新技術を具体的に以下の特定新分野の研究開発に生かしたい方

中堅・中小企業 大学等

- ④ ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業
- ⑤ 戦略的省エネルギー技術革新プログラム
- ⑥ 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業
- ⑦ 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業
- ⑧ ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成
- ⑨ AIシステム共同開発支援事業
- ⑩ AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業



次世代プロジェクトシーズ発掘事業

⇒革新的な新技術シーズをお持ちの方

NEDO先導研究プログラム/

- ① 新技術先導研究プログラム
- ② 未踏チャレンジ2050

大学等 中堅・中小企業

死の谷

研究開発型ベンチャーの起業家支援事業

⇒Tech系ベンチャーの起業をご検討の方

- ③ 研究開発型ベンチャー支援事業
 - ③-1 NEDO Technology Commercialization Program (TCP)
 - ③-2 NEDO Entrepreneurs Program (NEP)
 - ③-3 シード期の研究開発型ベンチャー (STS) への事業化支援
 - ③-4 企業間連携スタートアップ (SCA) に対する事業化支援
 - ③-5 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)

ベンチャー 大学等

マッチング支援事業

⇒ビジネスへのマッチングを促進

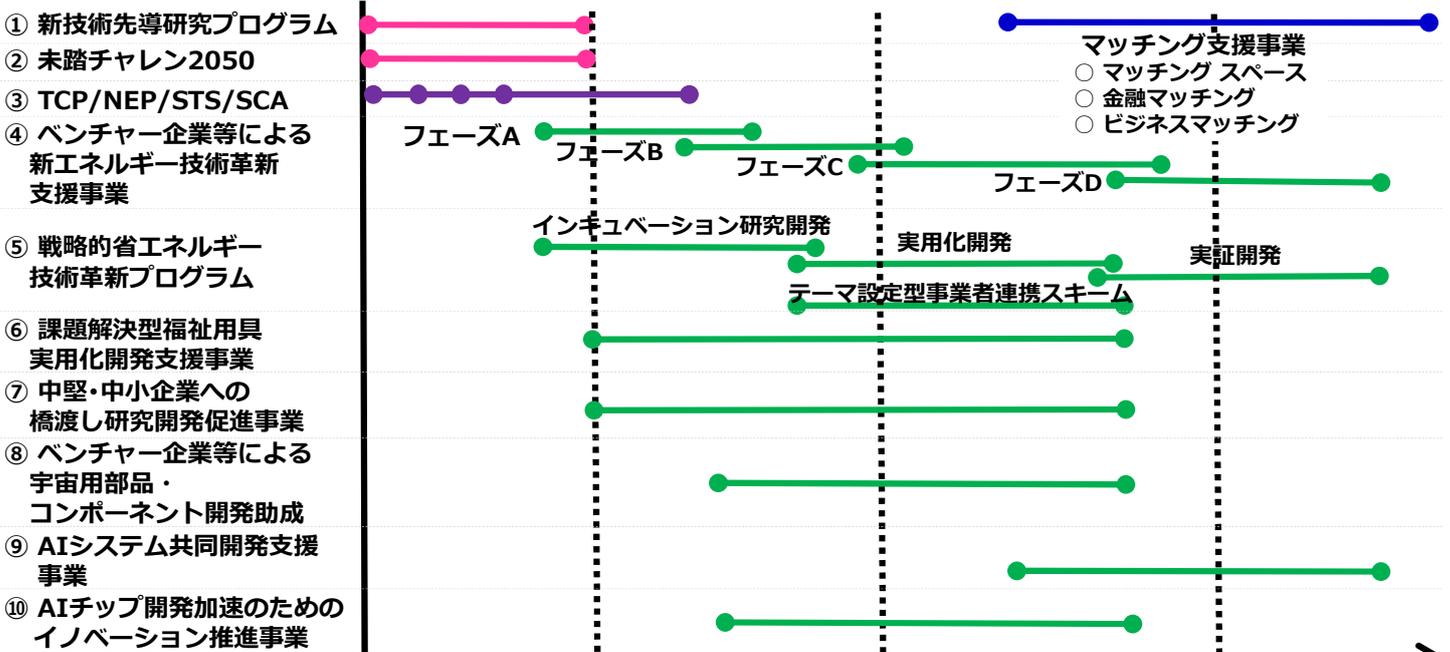
- マッチングスペース
- 金融マッチング
- S-Matching
- ビジネスマッチング

ベンチャー

中堅・中小企業

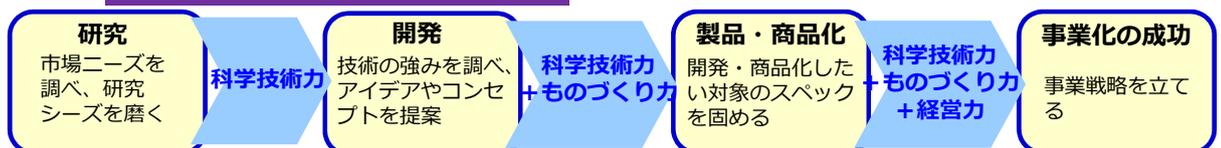
※「中堅・中小企業」「大学等」「ベンチャー」アイコンは、視覚的分類を目的につけており、事業によっては、応募対象を制限しているとは限りません。詳細は各事業をご確認ください。

自社に合ったフェーズ・性質の事業をご検討ください



大学等 中堅・中小企業

ベンチャー



※主な対象事業について、視覚的にご理解いただくことを目的に矢印の範囲をつけております。詳細は各事業をご確認ください。

NEDOのテーマ公募型事業

平成30年度予算

■次世代プロジェクトシーズ発掘事業

- ① NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム P.3
問い合わせ先：イノベーション推進部フロンティアグループ TEL：044-520-5174 FAX：044-520-5177 E-MAIL：enekan@nedo.go.jp
- ② NEDO先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050 P.4
問い合わせ先：イノベーション推進部フロンティアグループ TEL：044-520-5174 FAX：044-520-5177 E-MAIL：mitou@nedo.go.jp

■研究開発型ベンチャーの起業家支援事業

- ③ 研究開発型ベンチャー支援事業
- ③-1 Technology Commercialization Program (TCP) P.5
- ③-2 NEDO Entrepreneurs Program (NEP) P.6
- ③-3 シード期の研究開発型ベンチャー (STS) への事業化支援 P.7
- ③-4 企業間連携スタートアップ (SCA) に対する事業化支援 P.8
- ③-5 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA) P.9
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5173 FAX：044-520-5178 E-MAIL：vc-vb@nedo.go.jp

■研究開発成果の実用化・事業化支援事業

- ④ ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業 P.10
(旧：新エネルギーベンチャー技術革新事業)
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5171 FAX：044-520-5178 E-MAIL：venture29@nedo.go.jp
- ⑤ 戦略的省エネルギー技術革新プログラム P.11
問い合わせ先：省エネルギー部「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」事務局 FAX：044-520-5281 E-MAIL：shouene@ml.nedo.go.jp
- ⑥ 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業 P.12
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5175 FAX：044-520-5178 E-MAIL：fukushi@nedo.go.jp
- ⑦ 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業 P.14
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5175 FAX：044-520-5178 E-MAIL：hashiwatashi28@nedo.go.jp
- ⑧ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業 P.15
(ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成)
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5175 FAX：044-520-5178
- ⑨ AIシステム共同開発支援事業 P.16
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5173 FAX：044-520-5178 E-MAIL：vc-vb@nedo.go.jp
- ⑩ AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業 P.16
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5173 FAX：044-520-5178 E-MAIL：ai.chip@ml.nedo.go.jp

■マッチング支援事業

- ① マッチングスペース P.17
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5172
- ② 金融マッチング P.17
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5170
- ③ 宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム (S-Matching) P.18
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5175 FAX：044-520-5178 E-MAIL：s-matching@nedo.go.jp
- ④ ビジネスマッチング P.18
問い合わせ先：イノベーション推進部 TEL：044-520-5172

■その他の取り組み

 オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 P.19

- ◎ NEDOホームページ公募情報(基本計画・実施方針・公募要領)の確認方法、
府省共通研究開発管理システム (e-Rad) への事前登録について P.20
- ◎ NEDO平成30年度テーマ公募事業一覧 P.21-22

将来の国家プロジェクトになり得る革新的な技術シーズの発掘

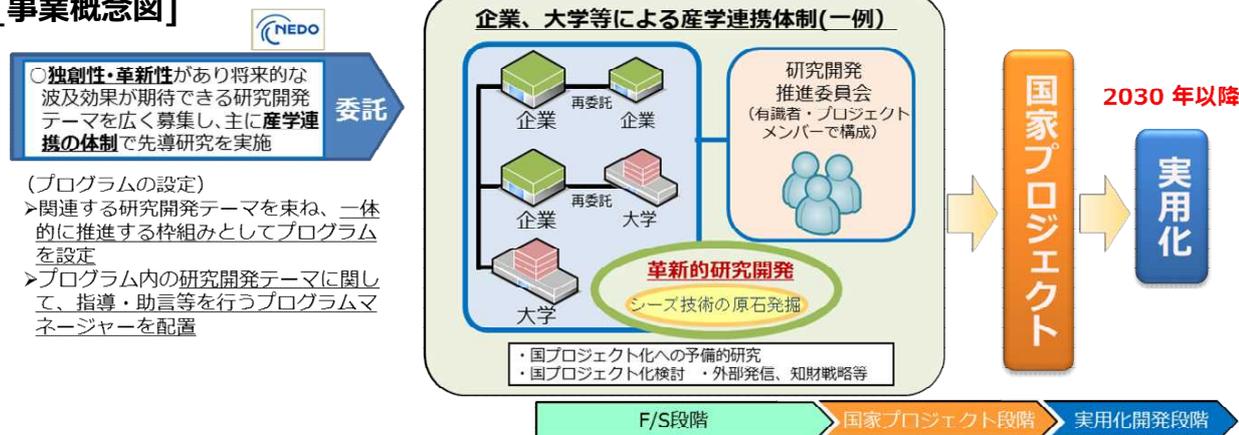
① NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム

飛躍的なエネルギー効率向上や低炭素社会の実現に資する有望な技術、新産業創出に結びつく産業技術の原石を発掘し、将来の国家プロジェクト等に繋げていく先導研究を推進します。

対象者	企業、大学等による産学連携体制	大学・公的研究機関のみ（産学連携体制の例外※）
事業形態	委託（NEDO100%負担）	
費用	1億円程度以内／年・件	2千万円以内／件
事業期間	原則1年（12か月）以内（最長2年）	1年（12か月）以内
対象技術分野 <公募ごとに研究開発課題を設定>	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 省エネルギー、新エネルギー、CO ₂ 削減等のエネルギー・環境分野 ◆新産業創出新技術先導研究プログラム 新産業創出に結びつく産業技術分野	

※ 産学連携体制の例外・・・将来的に産学連携となる研究開発体制の具体的な想定があり、かつ、少なくとも現時点で連携先となる企業を模索する具体的な取り組みが行われていることを前提とします。

[事業概念図]



「NEDO先導研究プログラム／新技術先導研究プログラム（旧：エネルギー・環境新技術先導プログラム）」予算額と公募情報

平成26年度	予算：20.0億円	公募 採択36件／応募172件（4.8倍）
平成27年度	予算：31.4億円	第1回公募 採択10件／応募53件（5.3倍） 第2回公募 採択20件／応募73件（3.6倍）
平成28年度	予算：21.5億円	公募 採択12件／応募52件（4.3倍）
平成29年度	予算：26.0億円	公募 採択32件／応募110件（3.4倍）
平成30年度	予算：27.6億円 4.1億円	◆エネルギー・環境新技術先導研究プログラム 公募（平成30年2月2日～平成30年3月5日） 採択27件／応募106件（3.9倍） ◆新産業創出新技術先導研究プログラム 公募（平成30年3月15日～平成30年4月19日） 採択12件／応募68件（5.7倍）

※「旧：エネルギー・環境新技術先導プログラム」は、平成30年度から開始する「NEDO先導研究プログラム」に統合されるため、事業名を変更いたします。「エネルギー・環境新技術先導プログラム」につきましては、採択後の契約締結時に「NEDO先導研究プログラム／エネルギー・環境新技術先導研究プログラム」の名称で契約いたします。

●NEDO先導研究プログラムの事業の詳細は、以下でご確認いただけます。

NEDOホームページ> 事業一覧> 分野横断的公募事業→NEDO先導研究プログラム〔エネルギー・環境新技術先導研究プログラム／新産業創出新技術先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050〕

●平成30年度の公募情報・公募要領・採択結果等の詳細は、以下でご確認いただけます。

NEDOホームページ> 公募・調達> 公募情報→分野別情報一覧> ■分野横断的公募事業> 平成30年度 分野横断的公募事業分野 公募一覧



「エネルギー・環境新技術先導プログラム」のパンフレットを発行しています。

NEDOホームページ

ホーム>NEDOライブラリ>発行物>パンフレット>分野横断的公募事業

>エネルギー・環境新技・・・に掲載しています。（PDFをダウンロードし参照いただけます。）

http://www.nedo.go.jp/library/pamphlets/CA_201608_enekan.html

従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出

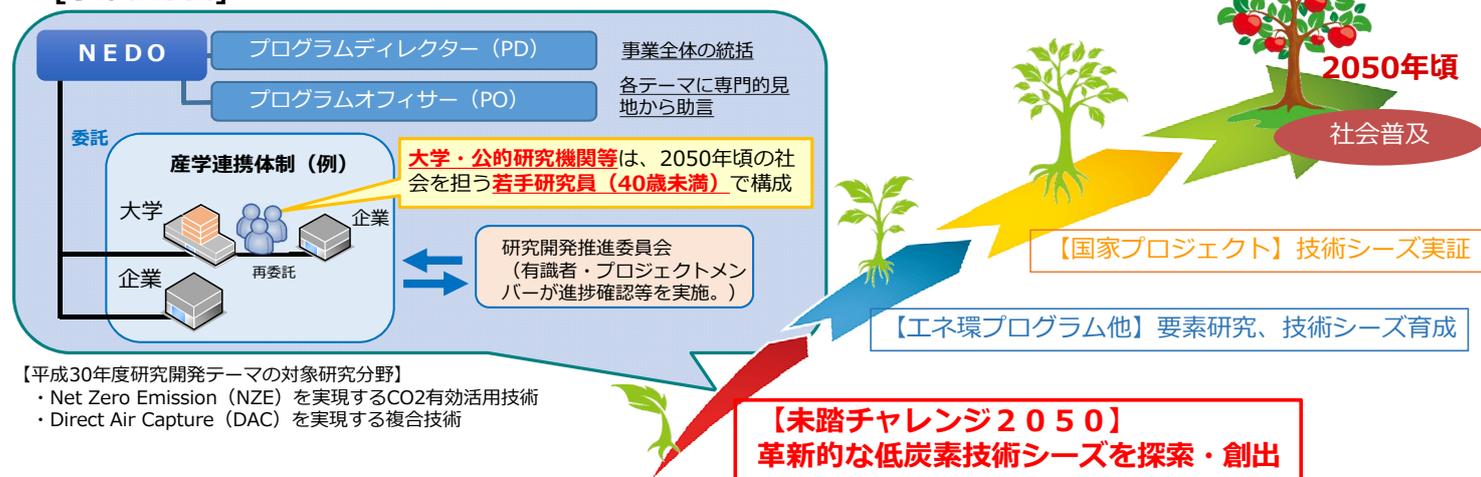
② N E D O 先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050

2050年の温室効果ガス削減に大きな可能性を有し、既存技術の延長線上になく、従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出し、COP21で言及された「2℃目標」の実現に貢献します。

対象者	原則、企業、大学・研究機関による産学連携※ 大学・研究機関は40歳未満の若手研究者
事業形態	委託（NEDO100%負担）
費用	500～2,000万円程度／年・件
事業期間	最大5年（原則3～5年とし、研究開発の途中段階でステージゲート審査を実施）
対象技術分野	省エネルギー、新エネルギー、CO ₂ 削減等のエネルギー・環境分野 ＜公募ごとに分野を指定した上で、解決すべき技術課題とそれを解決する研究開発内容を募集＞

※将来的に産学連携となる研究開発体制の具体的な想定があり、かつ、少なくともテーマ提案時点で連携先となる企業を模索する具体的な取り組みが行われていれば大学・研究機関のみの提案も可能とします。

[事業概念図]



【平成30年度研究開発テーマの対象研究分野】

- ・ Net Zero Emission (NZE) を実現するCO₂有効活用技術
- ・ Direct Air Capture (DAC) を実現する複合技術

「N E D O 先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050」 予算額と公募情報

平成29年度	予算 : 0.8億円	公募 採択8件／応募32件 (4.0倍)
平成30年度	予算 : 2.0億円	公募 (平成30年5月28日～7月12日) 採択4件／応募22件 (5.5倍)

●NEDO先導研究プログラムの事業の詳細は、以下でご確認いただけます。

NEDOホームページ> 事業一覧> 分野横断的公募事業→NEDO先導研究プログラム〔エネルギー・環境新技術先導研究プログラム／新産業創出新技術先導研究プログラム／未踏チャレンジ2050〕

●平成30年度の公募情報・公募要領・採択結果等の詳細は、以下でご確認いただけます。

NEDOホームページ> 公募・調達> 公募情報→分野別情報一覧> ■分野横断的公募事業> 平成30年度 分野横断的公募事業分野 公募一覧

大学、研究機関、ベンチャーの起業家の育成支援プログラム

③-1 Technology Commercialization Program (TCP)



技術シーズの事業化やそのプロセスに関心を有する国内の大学・研究機関等に在籍する研究員、大学院生、学部生であって、将来起業することを視野に入れている方を対象に、ビジネスプラン作成のための研修と、ビジネスプラン発表の機会を提供します。

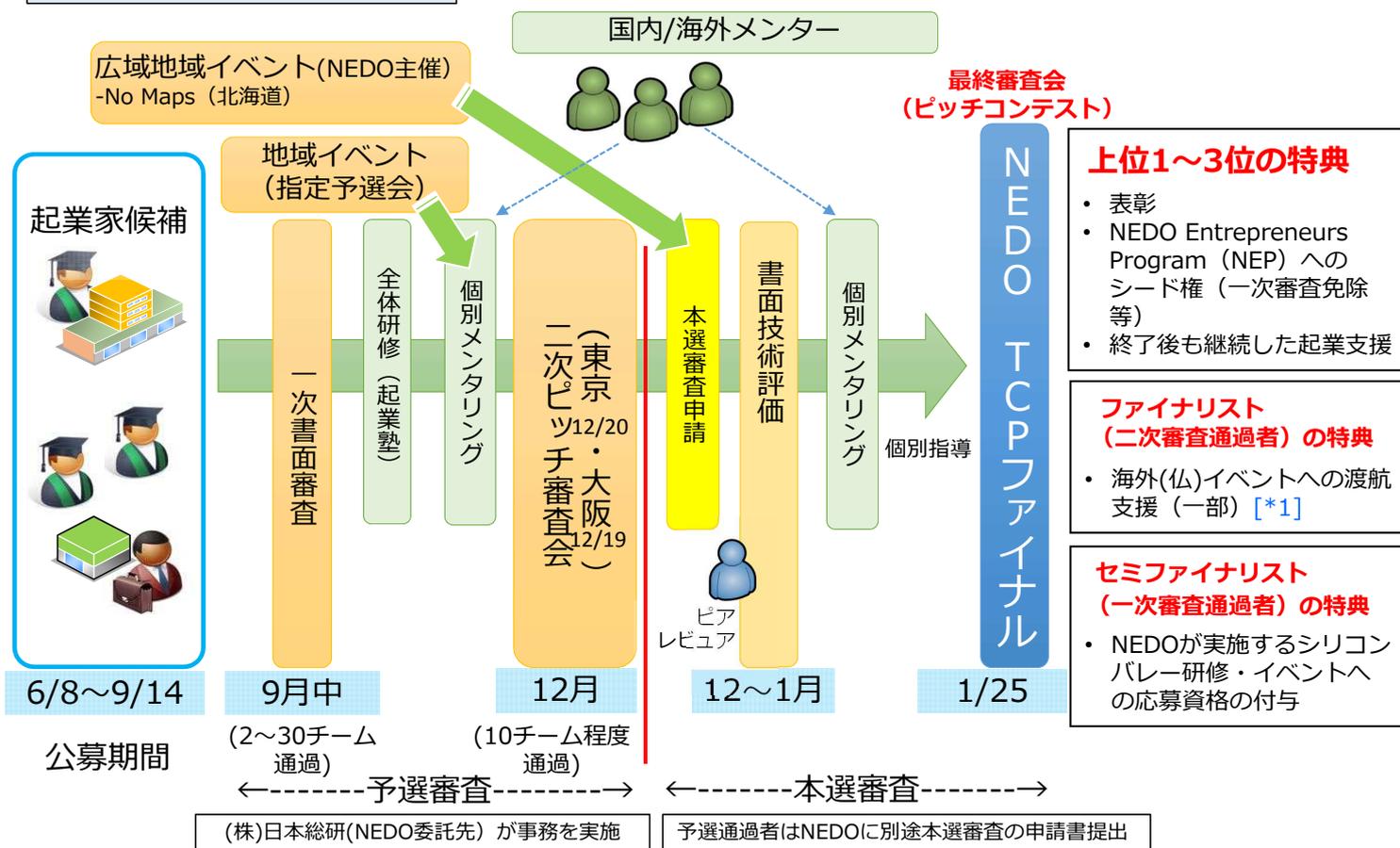
NEDO TCPは専用サイト <http://nedo-tcp.jp/> でご案内しています。

対象者	大学等の技術シーズを用いて起業を目指す研究者等※ ※公募開始時に起業していないこと (企業・大学等の個人、研究者又は研究チーム)
応募資格	○技術シーズの事業化に関心を有する国内の大学・研究機関に在籍する研究員、大学院生、学部生であって、将来起業することを視野に入れている方 ○企業における研究や新規事業のスピナウトを考えている方、既にスピナウトした方
募集内容	環境・エネルギー、電子・情報通信、バイオ・ヘルスケア、機械システム、ロボット、材料・ナノテクノロジー等の「技術」を活用したビジネスプラン
支援内容	国内外の専門家による助言および研修、活動費の直接的な支援はなし（旅費等の支援はあり）
賞	最優秀賞（1件）、優秀賞（1～2件）及びファイナリスト賞（10件程度）を表彰
事業期間	プログラムスケジュールに基づいて実施
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術（但し、原子力技術に係るものは除く）

平成30年度

平成30年6月8日～9月14日

NEDO TCP2018の流れ



[*1] Hello Tomorrow GLOBAL SUMMIT (2019年3月パリ開催) 参加の渡航費をNEDOが負担。別途Hello Tomorrow GLOBAL CHALLENGEに応募の上、Top500に選出されたチーム（最大3チーム）が対象。
<http://hellotomorrowjapan.org/> 【募集期間6/4～9/14】

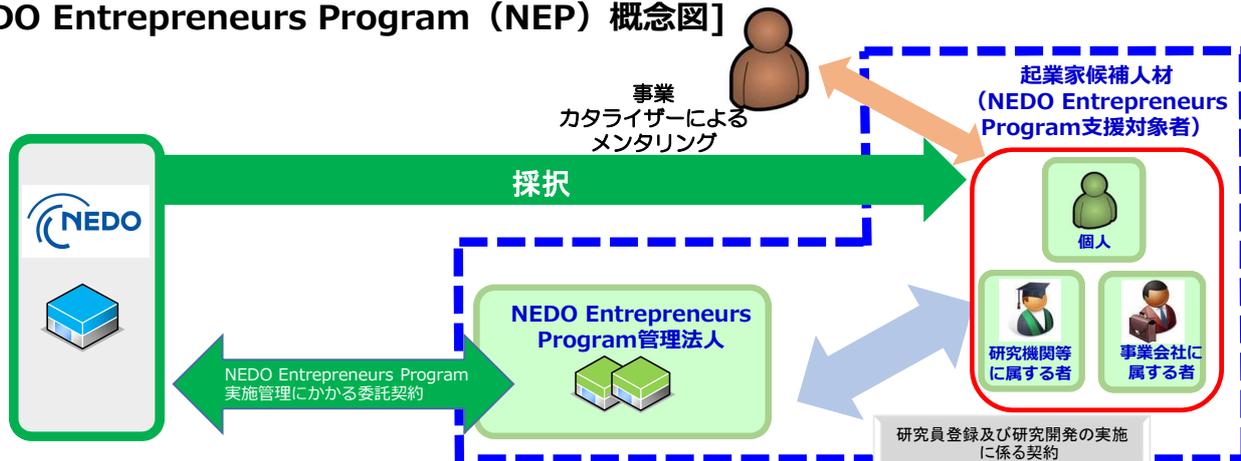
事業化支援人材の伴走支援による起業支援

③-2 NEDO Entrepreneurs Program (NEP)

技術シーズを活用した事業構想を有する起業家候補人材（個人又は研究機関等や企業等に属する者）に対し、事業化支援人材（事業カタライザー）による指導・助言の機会提供など、研究開発型ベンチャーを立ち上げるための活動を支援します。

対象者	個人事業主、起業を志す企業の社員、起業を志す研究者
事業形態	委託（NEDO負担率：委託対象費用の100%）
委託金額	原則500万円以内（労務費は対象外）
事業期間	6ヶ月以内
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術（但し、原子力技術に係るものは除く）

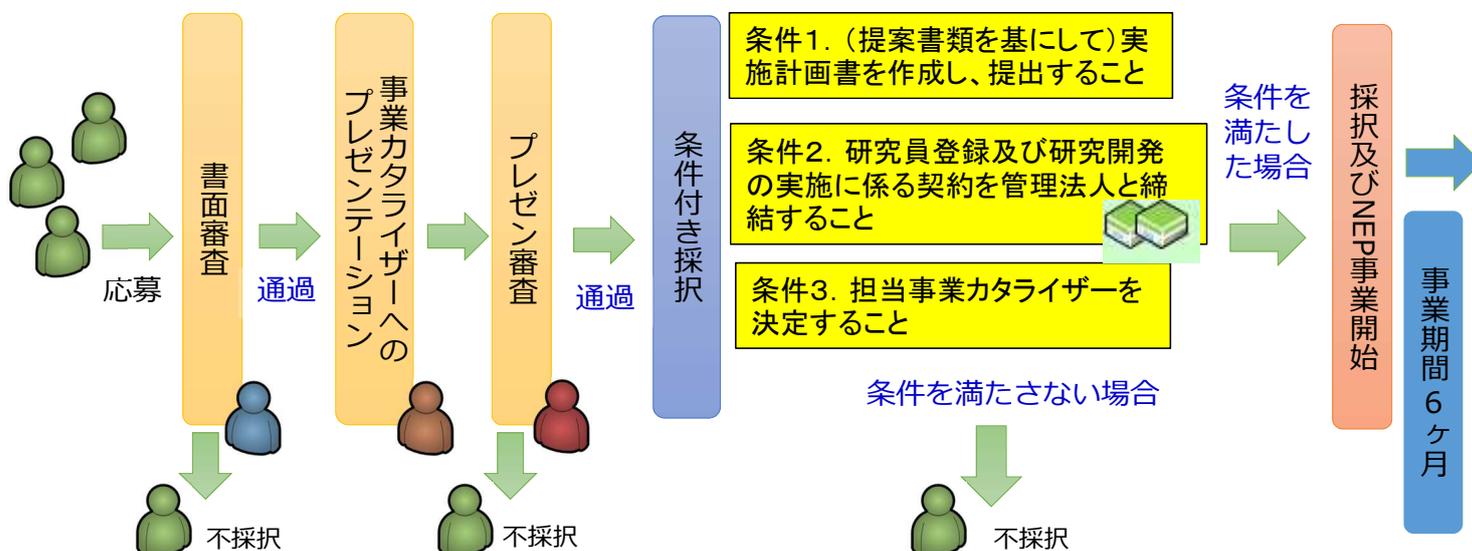
[NEDO Entrepreneurs Program (NEP) 概念図]



平成30年度	予算：1.0億円	公募（4/24～5/24）採択決定20件/応募90件（4.5倍）
--------	----------	----------------------------------

NEP公募～採択の流れ

書面審査、事業カタライザーとのプレマッチング(プレゼンテーション)後、外部専門家等によるプレゼンテーション審査を経て条件付き採択者を決定。採択決定後2か月以内を目安として、「実施計画書の提出」、「管理法人と研究者登録及び研究開発の実施に係る契約の締結」並びに「担当事業カタライザーの決定」をすることで本採択とする。



応募者	ピアレビュー	事業カタライザー	採択審査委員	NEDO Entrepreneurs Program 管理法人
-----	--------	----------	--------	---------------------------------

ベンチャーキャピタル等と連携してシード期のベンチャーを支援

③-3 シード期の研究開発型ベンチャー(STS)への事業化支援事業

具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDOが認定したベンチャーキャピタル等が出資を行うシード期の研究開発型ベンチャーに対して、事業化のための助成を行います。

対象者	シード期の研究開発型ベンチャー企業 (STS) (NEDOが認定したベンチャーキャピタル等 (認定VC) から助成対象費用の1/3以上の出資を受けること)
事業形態	助成 (NEDO負担率: 助成対象費用の2/3以下)
助成金額	プレSTS: 2,000万円以下、STS: 7,000万円以内 / 事業期間
事業期間	プレSTS: 1年以内 / STS: 1.5年以内
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術 (但し、原子力技術に係るものは除く)



STS(Seed-stage Technology-based Startups)の主な要件

- 日本登記された法人であること。
※中小企業基本法等に定められている中小企業者に該当する法人で、みなし大企業に該当しないこと。
- 特定の技術シーズを有し、その実用化開発と事業化を行うシード期の研究開発型ベンチャーであること。
- 認定VCから助成対象費用の1/3以上の出資を公募要領で定める期日以降に受けていること。又は、今後出資が予定されていること (出資の意思決定確認書等が必要)。
- 新市場、イノベーションを創出するものであること。



認定VC等の主な要件

- 業としてベンチャー企業への投資機能を有し、STSを支援するハンズオン能力を有するVC等。
(チームによる申請も可。)
- 日本国又は外国政府、国立大学法人、地方自治体の出資が入っていない法人であること。
- 国内にSTS等を支援する拠点 (支店も可) を有し、常駐スタッフを配置していること (計画段階も可)。
但し、常駐スタッフはSTSの支援実績、または支援能力を有すること。

<認定期間> 平成31年度まで
但しSTSの支援期間中は当該STSに対しての権利義務を継続。

認定VC (平成30年7月現在 34社)

株式会社ゼロワンブスター
株式会社ファストトラックイニシアティブ
株式会社TNPスレッズオブライト
SBIインベストメント株式会社
ジェネラルパートナー株式会社
鎌倉インベストメント株式会社
株式会社MAKOTOキャピタル/一般社団法人MAKOTO
株式会社みらい創造機構
株式会社ABBA Lab
株式会社広島ベンチャーキャピタル
合同会社ユグレナSMBC日興リバネスキャピタル

Beyond Next Ventures株式会社
Global Catalyst Partners Japan
ハックベンチャーズ株式会社
株式会社SARR TECH RANCH
株式会社東京大学エッジキャピタル
ウエルインベストメント株式会社/AZCA, Inc.
Draper Nexus Venture Partners, LLC
Expara Ventures, Ltd.
Triple Ring Technologies, Inc./日本医療機器開発機構
QBパートナーズ有責任事業組合
500Startups Japan

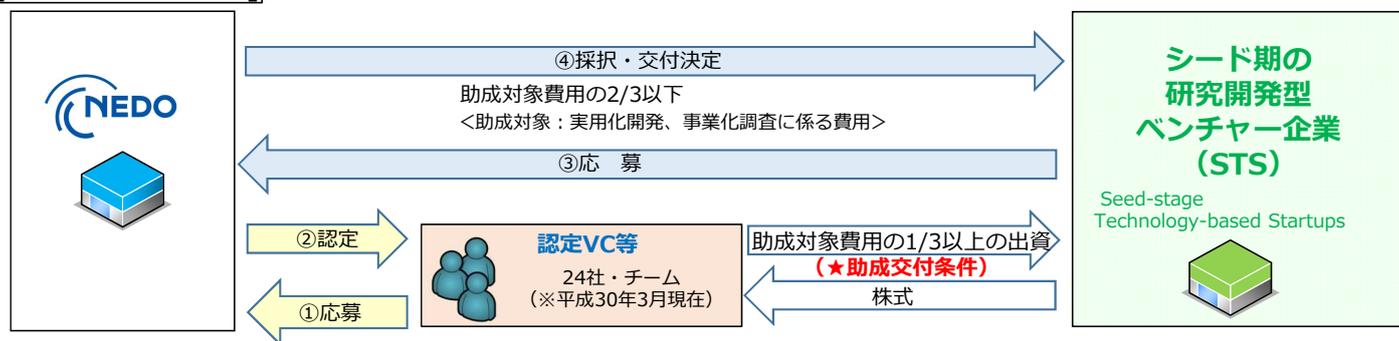
ニッセイ・キャピタル株式会社
株式会社ジャフコ
360ipジャパン株式会社
Remiges Biopharma Fund GP, Inc
株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ
D4V合同会社
グローバル・ブレイン株式会社
日本ベンチャーキャピタル株式会社
インキュベイトファンド株式会社
合同会社テックアクセルベンチャーズ
みやこキャピタル株式会社
MedVenture Partners株式会社

「研究開発型ベンチャーへの事業化支援事業 (VC-STS事業)」予算額と公募情報

平成28年度 (平成27年度補正予算)	予算 : 13.9億円	第1回公募 (4/15~5/27) 交付決定4件/応募12件 (3倍) 第2回公募 (7/11~8/26) 交付決定9件/応募14件 (1.6倍)
平成29年度	予算 : 15.0億円	第1回公募 (4/3~5/31) 交付決定15件/応募26件 (1.6倍) 第2回公募 (7/19~8/21) 交付決定7件/応募12件 (1.7倍)
平成30年度	予算 : 8.0億円	第1回公募 (3/19~5/7) 採択決定7件/応募23件 第2回公募時期: 7月12日~8月31日、第3回公募時期: 11月初旬~12月下旬

●平成30年度の公募情報・公募要領・採択結果等の詳細は、以下でご確認いただけます。
NEDOホームページ> 公募・調達> 公募情報→分野別情報一覧> ■分野横断的公募事業 平成30年度 分野横断的公募事業分野 公募一覧

[VC-STS事業概念図]



【参考】平成29年度第1回公募 交付決定先 (15社)

レグセル株式会社	「免疫細胞の人工的機能転換技術の開発」
株式会社フューチャースタンド	「汎用スマートカメラを複数同時運用した空間可視化システムの開発」
ITD Lab株式会社	「自律走行・自律飛行用ステレオカメラの開発」
株式会社Photo electron Soul	「半導体フォトカソード電子ビーム生成システムの製品化開発」
インテリジェント・サーフェス株式会社	「生体模倣技術を駆使した革新的機能性素材の開発」
サスマド株式会社	「モバイル睡眠改善システムの社会実装と関連事業の事業化」
ピクシダストテクノロジー株式会社	「波動コントロール技術による焦点スピーカー及び派生製品の開発」
株式会社プレジジョン	「人工知能を用いた臨床意思決定支援システム開発」
株式会社Atomis	「次世代高圧ガスポンプの開発」
株式会社Epsilon Molecular	「Engineering GPCRを標的とする次世代スクリーニングシステムの開発」
Genomeida株式会社	「最新情報を搭載した速報性の高い変異解釈システム構築」
HoloEyes株式会社	「VRサービスHoloeyes VR」
セルアクシア株式会社	「高機能細胞を活用した新規治療法の試験・分析技術等の開発」
株式会社ニューロスペース	「シフト勤務者の大規模睡眠解析プラットフォーム開発」
株式会社メルティンMMI	「危険環境下で作業代替を行う人型ロボットハンドモジュール/システムの開発」

事業会社と共同研究等を行う研究開発型ベンチャーを支援

③-4 企業間連携スタートアップ（SCA）に対する事業化支援

具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、事業会社と共同研究等を行う研究開発型ベンチャーに対して、事業化のための助成を行います。

対象者	企業間連携スタートアップ（SCA） 連携する事業会社と共同開発契約を締結すること
事業形態	助成（NEDO負担率：助成対象費用の2/3以下）
助成金額	原則7,000万円以内／事業期間
事業期間	約1.5年間
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術（但し、原子力技術に係るものは除く）



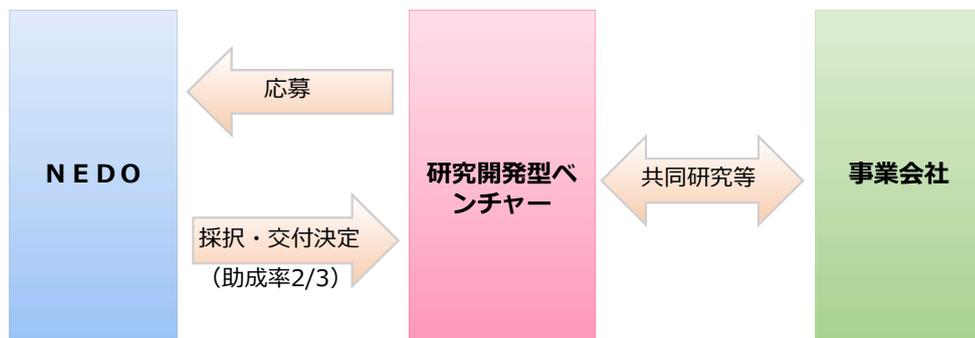
SCA(Startups in Corporate Alliance)の 主な要件

- 具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、事業会社と共同開発契約等を公募要領で定める期日以降で締結していること。又は、今後締結が予定されていること（締結の意向を確認するための同意書等が必要）。
- 本邦法人であって、事業活動に係る主たる技術開発および意思決定のための拠点を日本国内に有すること。
※本邦法人未設立及び拠点未設置の場合は、採択後1か月以内にそれぞれ設立及び設置すること。
- 中小企業基本法等に定められている中小企業者に該当する法人であって、みなし大企業に該当しないもの。
- 大企業の持分法適用会社ではないこと。
- 事業会社からの出資が50%未満で非連結対象であること。
※事業会社の出資による取得株式には、事業会社の投資事業有限組合員としての所有に属する分を含む



共同研究等を行う事業会社の主な要件

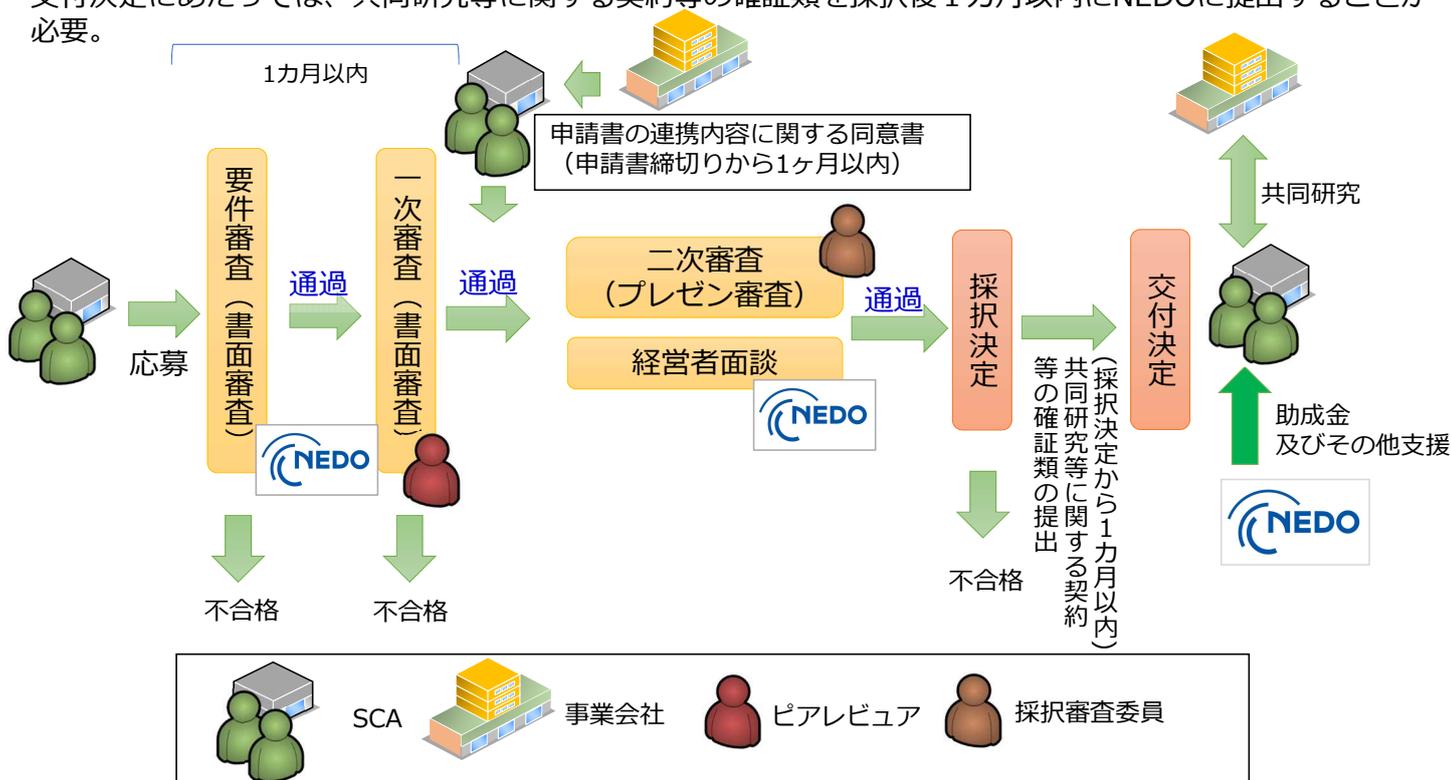
- 本邦法人であること(海外法人の場合は、採択日から1か月以内に日本法人を設立すること)。
- SCAに対する出資による持株比率が、50%未満かつSCAを連結対象としない等、実質上SCAを支配していないとみなせること。
※なお、SCAへの出資による取得株式には、事業会社の投資事業有限組合員としての所有に属する分を含む。



平成28年度	予算：約6億円	公募（10/3～11/24） 交付決定12件/応募72件（6倍）
平成30年度	予算：約4億円	公募時期：平成30年5月15日～平成30年6月28日

SCA公募～交付の流れ

- ・申請書を提出の上、申請書締切りから1か月以内に事業会社から申請書の連携内容に関する同意書を取得しNEDOに提出。一次審査及び二次審査（プレゼン審査）・経営者面談を経て、採択・交付決定を行う。
- ・交付決定にあたっては、共同研究等に関する契約等の確認類を採択後1か月以内にNEDOに提出することが必要。



研究開発型ベンチャー支援の中核的な役割を担う、専門支援人材を輩出

③-5 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)

広い知見と高い専門性を持ち、研究開発型ベンチャーの成長を伴走支援できる人材の育成を行う高度専門支援人材育成プログラム「NEDO Technology Startup Supporters Academy (SSA)」を実施します。

対象者	イノベティブな研究開発型ベンチャーの創出支援の現場をリードしていく、またはリードしていくであろう人材、もしくは、今後こうした支援キャリアを目指そうとする若手支援者候補など
対象者例	<ul style="list-style-type: none"> ○全国大学の産学連携・知財本部などの関連教職員・URA、コーディネーター、TLO役職員、ポスドク等 ○イノベーション・モノづくり支援等を担う自治体部局や公的産業支援機関の担当職員、インキュベーションマネージャー、コーディネーター ○民間企業にてオープンイノベーションや社内発ベンチャー創出に従事する担当で、高度専門性・キャリアを高めたい関係部局の担当者 ○VC等で、各地の研究機関や公的機関と連携し、シード段階から積極的に技術の目利きや掘り起こしを行い、研究開発型の専門性やキャリアを構築したいキャピタリスト ○上記に準ずる職能の者あるいはベンチャー支援者を志す若手人材など
目的	日本のベンチャー・エコシステムの構成員としての公益的視点、広い知見や高い専門性を持って先端の研究開発型ベンチャーの発掘から成長を伴走支援できる、現場の中核的役割を担う高度専門支援人材、上記のキャリアパスを志向するイノベーション支援人材を、産・学・官・公・民の横串で育成します。
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 【1】テクノロジーベンチャー支援に必要な、基本的な知識やスキルを身に付ける講義群 【2】伴走型支援者としてのマインドを培う場の提供 【3】上記のOJT (NEDO事業者の支援現場) での実践的なアウトプット機会の提供など
事業期間 (平成30年度)	2018年10月初旬～2019年2月末日までの予定 (約4か月間)

受講要件等

定員 : 15名～20名程度

参加費 : 無料

(ただし、参加に係る交通費等の実費は自己負担)

選考 : 書面審査により受講者を決定します。

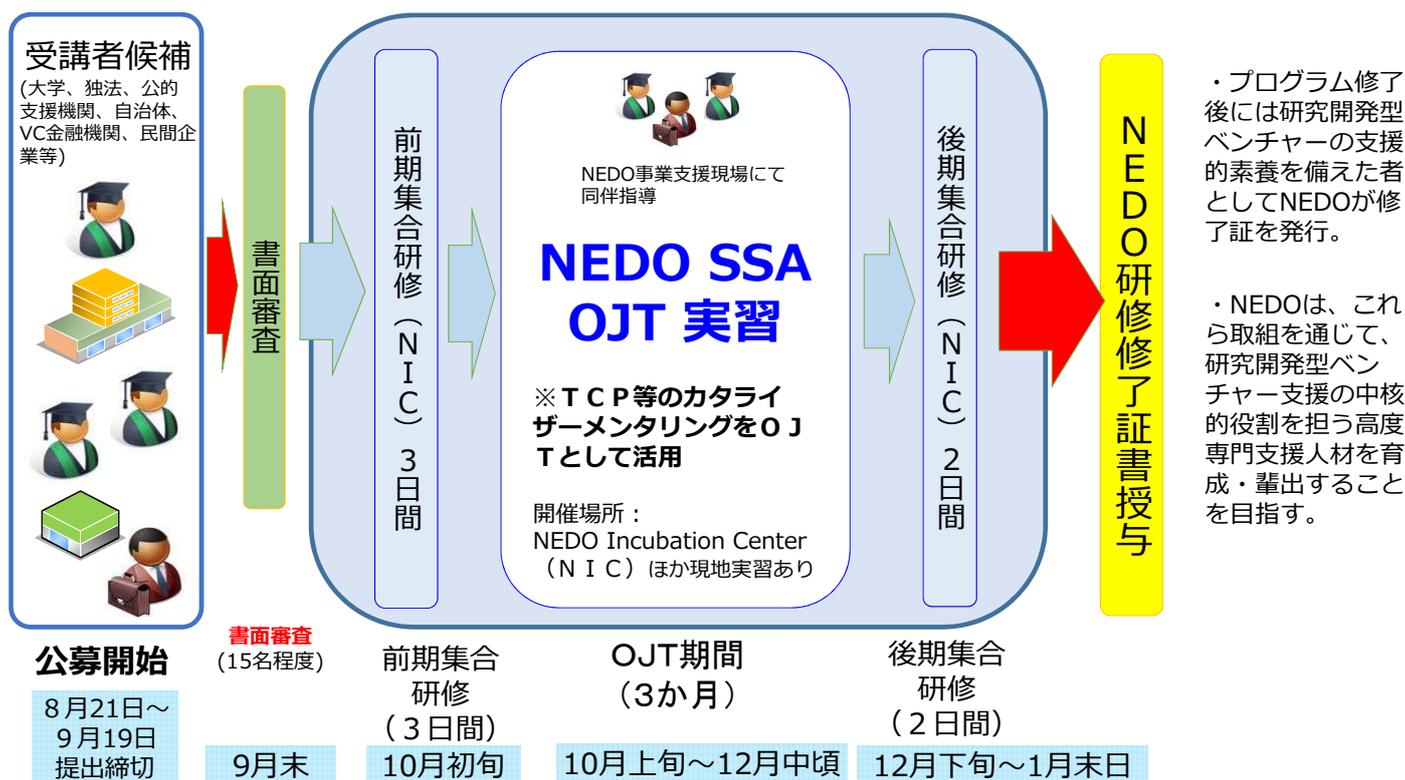


後援機関等 (予定)

経済産業省 / (国研) 産業技術総合研究所 / (国研) 科学技術振興機構 / (国研) 理化学研究所
 (国研) 情報通信研究機構 / (国研) 日本医療研究開発機構 / (国研) 宇宙航空研究開発機構
 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 / (国研) 物質・材料研究機構 / (国研) 海洋研究開発機構
 (独) 日本貿易振興機構 / (独) 中小企業基盤整備機構 / (独) 情報処理推進機構
 (一財) ベンチャーエンタープライズセンター / (一社) 日本ベンチャーキャピタル協会
 オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会ほか

平成29年度	募集期間 : 8月21日～9月19日 OJT参加数25名/応募72名
--------	------------------------------------

第一線で活躍するベンチャー企業やイノベーションの有識者による研究開発型ベンチャーの創出や支援について必要となる基本的な知識や方法論に関する講義、ワークショップによる支援課題や論点のディスカッション、そしてNEDOプログラムならではの研究開発型ベンチャーの“生”の支援現場を実践経験するOJT機会によりプログラムを実施します。



再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援

④ ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業

(旧：新エネルギーベンチャー技術革新事業)

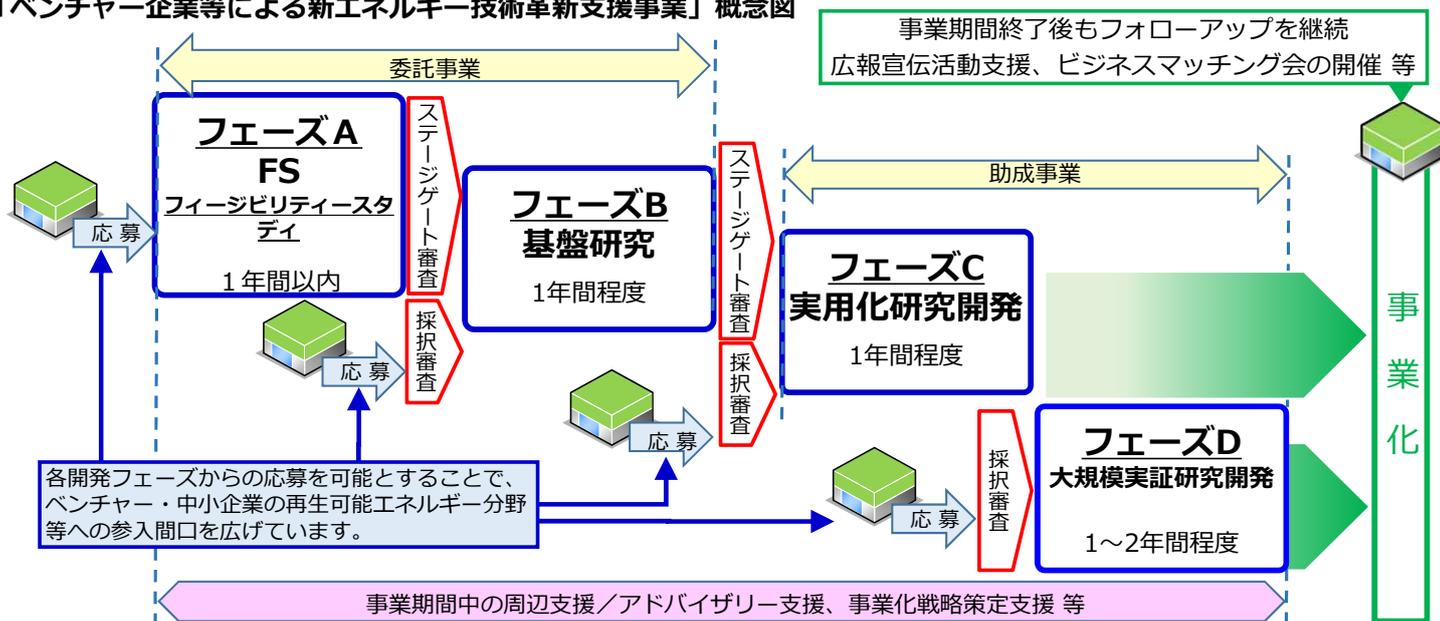
本事業は、平成19年度から実施しています。技術開発のステップによって4つのフェーズ（FS、基礎研究、実用化研究開発、大規模研究開発）を設け、中小・ベンチャー企業が保有している再生可能エネルギー分野等の潜在的技術シーズについて、技術や事業化の面での優位性や独自性等の観点から選抜・育成し、事業化を見据えた技術開発支援を行っています。

対象者	中小企業等（フェーズA及びBは、大学等との連携体制による応募が必要）			
フェーズ 各フェーズからの応募が可能	フェーズA (FS)	フェーズB (基礎研究)	フェーズC (実用化研究開発)	フェーズD (大規模実証研究開発)
	技術シーズを保有している中小企業等（ベンチャーを含む）が、事業化に向けて必要となる基礎研究のためのフィージビリティ・スタディ（FS）を実施	要素技術の信頼性、品質向上、システムの最適設計・最適運用などに資する技術開発や、プロトタイプ試作およびデータ計測等、事業化に向けて必要となる基礎技術の研究を実施	事業化の可能性が高い基礎技術を保有している中小企業等（ベンチャーを含む）が、事業化に向けて必要となる実用化技術の研究や実証研究等を実施	事業化のリスクが高いものの、基礎となる技術が確立された極めて有望な技術を保有し、それを実証する能力を有する中小企業等（ベンチャー含む）が、必要に応じて自治体や大企業等と連携して、事業化に向けた大規模な実証研究を実施
事業形態	委託 NEDO負担率 委託対象費用の100%	委託 NEDO負担率 委託対象費用の100%	助成 NEDO助成率 助成対象金額の3分の2	助成 定額
委託・助成金額	1千万円以内/件	5千万円以内/件	5千万円以内/件	3億円以内/件
事業期間	1年間以内	1年間程度		1～2年間程度
対象技術	エネルギー基本計画、新成長戦略等に示される以下の分野 ①太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用、その他未利用エネルギー分野 ②再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）			

「ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業/新エネルギーベンチャー技術革新事業」 予算額と公募情報

平成28年度 (平成28年度予算)	予算 : 24.0億円	公募 (3/11~5/11) 採択19件/応募76件 (4.0倍)
平成29年度 (平成29年度予算)	予算 : 18.5億円	公募 (2/6~3/14) 採択30件/応募73件 (2.4倍) 第2回公募 (10/6~11/6) 採択16件/応募49件 (3.1倍)
平成30年度 (平成30年度予算)	予算 : 19.0億円	公募時期：平成30年4月12日～平成30年5月24日

「ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業」 概念図



各フェーズの申請体制について

<フェーズA> 中小企業等と連名申請者の複数機関での申請が前提であると共に連名申請者の1つは大学等であることが必要。

<フェーズB> 中小企業等の単独申請も可能（単独申請の場合は実施体制に大学等を含むことが必要）。

<フェーズC・D> 複数機関での申請の場合は連名申請者は中小企業等であることが必要（大学等は共同研究先として参画が可能）。

※フェーズDは連名申請者として大企業の参画が可能。

省エネルギー技術の研究開発を支援

⑤ 戦略的省エネルギー技術革新プログラム

「省エネルギー技術戦略」で掲げる重要技術を中心として、2030年に高い省エネルギー効果が見込まれる省エネルギー技術について、技術開発を支援します。省エネルギー技術の開発を戦略的に推進することで、我が国における省エネルギー型経済社会の構築及び日本の産業競争力の強化に寄与します。

◆平成29年度から「テーマ設定型事業者連携スキーム」を新しく設定。

対象者	企業・大学等（企業必須、大学単独の提案は不可）			
技術開発フェーズ※①	基本スキーム			テーマ設定型事業者連携スキーム
	インキュベーション研究開発	実用化開発	実証開発	
	技術シーズを活用し、開発・導入シナリオの策定等を行う。実用化開発・実証開発の事前研究のため、本フェーズ単独の実施は不可。	既存の技術・ノウハウ等をベースとした応用技術開発。開発終了後3年以内に製品化を目指す。	実証データを取得するなど、事業化を阻害している要因を克服し、本開発終了後、速やかに製品化を目指す。	複数の事業者が連携・協力し、業界の共通課題等の解決に繋げる基盤技術開発や応用技術開発。本開発終了後3年以内に製品化を目指す。なお、対象とすべきテーマはあらかじめ設定し公募する。
事業形態※②	助成 NEDO助成率 助成対象金額の3分の2	助成 NEDO助成率 助成対象金額の3分の2 又は2分の1	助成 NEDO助成率 助成対象金額の2分の1 又は3分の1	助成 NEDO助成率 助成対象金額の3分の2
助成対象上限金額※③	2千万円/件・年	3億円/件・年	10億円/件・年	5億円/件・年
事業期間※④	2年以内	3年以内	3年以内	5年以内
対象技術	<ul style="list-style-type: none"> ●国内において「2030年時点で10万kL/年以上(原油換算値)の省エネルギー効果量」が見込めること ●実用化開発及び実証開発では、省エネ効果量に応じた年間助成対象金額上限を設定します。※⑤ ●「省エネルギー技術戦略」に掲げる「重要技術」に係るテーマを優先的に採択。 			

※①：技術開発フェーズを組み合わせることで応募することが可能。次のフェーズに進む際は「ステージゲート審査」を行います。

ただしインキュベーションフェーズ単独での応募は不可。

※②：共同研究先が学術機関等の場合、共同研究費はNEDOが100%定額助成。ただし年間総額の3分の1未満または5千万円まで。

※③：助成対象金額＝NEDO負担額＋実施者負担額

※④：事業期間が3年の場合は、2年目終了時に中間評価を行い継続の可否を決定します。

実用化開発及び実証開発は通常2年または3年。ほかのフェーズと組み合わせる場合、事業期間1年でも可能。

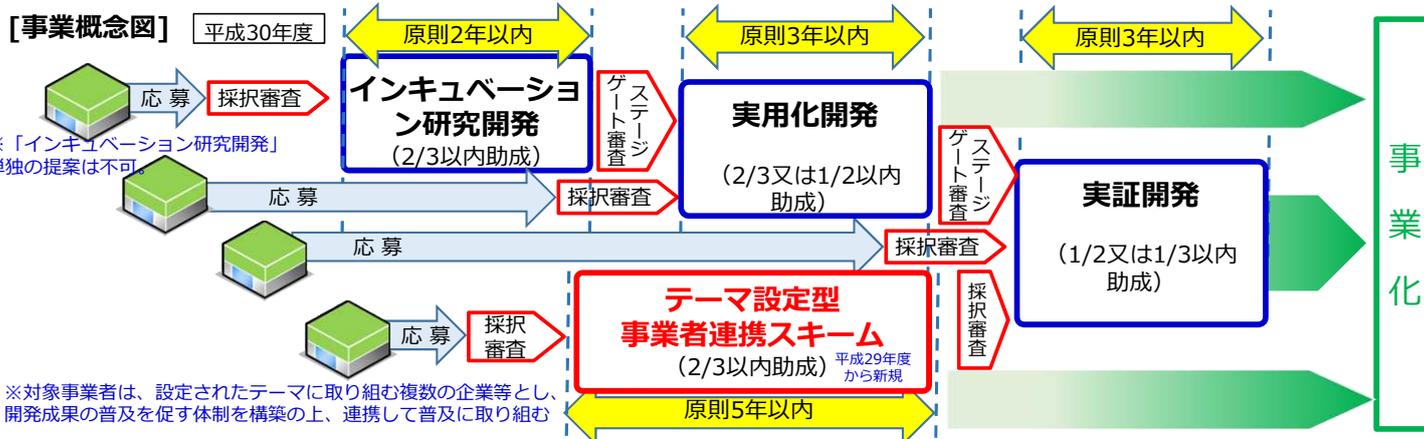
※⑤：例) 実用化開発フェーズ 2030年時点で10万kL/年以上が見込める場合 = 3億円(年間上限額) / 年度
2030年時点で5万kL/年以上が見込める場合 = 1.5億円(年間上限額) / 年度

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」予算額と公募情報

平成28年度 (平成28年度予算)	予算：77.5億円	第1回公募(2/15～3/16)：採択9件/応募66件(7.3倍) <ご参考：H24～H28年度累計倍率：2.9倍(採択152件/応募443件)>
平成29年度 (平成29年度予算)	予算：80.0億円	基本スキーム第1回公募(1/23～2/21)：採択29件/応募61件(2.1倍) テーマ設定型事業者連携スキーム(3/27～4/25)：採択2件/応募6件(3.0倍)
平成30年度 (平成30年度予算)	予算：72.0億円	第1回公募(2/5～3/13)：採択26件/応募47件(1.8倍)

●平成30年度の公募情報・公募要領・採択結果等の詳細は、以下でご確認いただけます。

NEDOホームページ>公募・調達>公募情報→分野別情報一覧>省エネルギー



【参考】本プログラムが支援する重点分野



⑥ 福祉用具の実用化を支援 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業

健康の増進、心身の機能が低下した高齢者や障害者のQOL向上に資する技術の確立を目指して、福祉用具の実用化開発を行う中小企業に対して助成を行うと同時に、福祉機器のニーズ調査や研究開発に必要な情報の収集・分析・提供を実施します。

対象者	中小企業 開発体制：中小企業、研究開発組合等
事業形態	助成（NEDO負担率：助成対象費用の2/3※①）
助成金額	2,000万円以内／年間（3年間で6,000万円）
事業期間	最大3年間
助成要件	<ul style="list-style-type: none"> ○研究開発の対象となる機器が「福祉用具」（※②）であること、全く同一の機能、形態の製品が存在しないという新規性、技術開発要素を有していること。 ○その事業が、利用者ニーズに適合し、研究開発要素を有する等、助成金交付の目的に適合するものであること。 ○その福祉用具の実用化開発により、介護支援、自立支援、社会参加支援、身体代替機能の向上等、具体的な効用が期待され、かつ一定規模の市場が見込まれ、更にユーザーからみて経済性に優れているものであること。 ○福祉施設等の用具に対する利用者ニーズを的確に反映し、速やかな実用化導入とするため、介護・福祉施設等のユーザー等との協力体制の下で行っていること。

重要課題に関する評価項目

- (ア) 機能性とデザイン性を兼ね備えた福祉用具の技術開発
 - (イ) 小児用福祉用具の技術開発
- ※上記以外のテーマも申請可能です。

開発体制の要件

開発体制に実証機関を含み、助成事業者が実証機関と連携して実際のユーザーを対象にした実証試験を行うことが必須の要件です。

【実証機関の要件】

- 日本国内の法人登記された機関または公的機関であること
- 助成事業者と連携し、実証試験を実施する能力を有すること

※①：発行済株式の総数又は出資の総額の「2分の1以上が同一の大企業の所有に属している」または「3分の2以上が複数の大企業の所有に属している」中小企業は2分の1以内。

※②：「福祉用具」とは、心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある老人又は心身障害者の日常生活上の便宜を図るための用具及びこれらの者の機能訓練のための用具並びに補装具をいう。（福祉用具法 第2条より）

「課題解決型福祉用具実用化開発支援事業」予算額と公募情報

平成28年度 (平成28年度予算)	予算：1.0億円	公募(4/8~5/30)：採択 新規3件/応募38件(12.7倍)
平成29年度 (平成29年度予算)	予算：1.0億円	公募(2/6~3/21)：採択 新規4件/応募28件(7倍)
平成30年度 (平成30年度予算)	予算：1.0億円	公募(3/7~4/19)：採択 新規3件/応募15件(5倍)

●平成30年度の公募情報・公募要領等の詳細は、以下でご確認いただけます。
NEDOホームページ>公募・調達>公募情報→分野別情報一覧>福祉用具

(参考) 平成29年度採択 新規テーマ概要(4件)

歩行器用自動抑速ブレーキの実用化開発



4インチ車輪内蔵型自動抑速ブレーキ

事業者：アクロナイン株式会社
共同研究先：和歌山県工業技術センター

QRコードで世界中の印刷物を音声化するシステムの開発



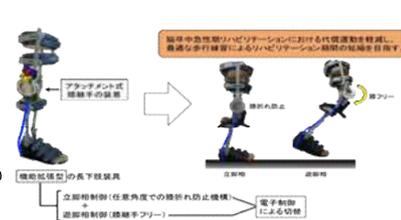
事業者：エクスポート・ジャパン株式会社

完全閉じ込め状態になったALS患者等の単語発信システムの開発



事業者：ダブル技研株式会社

アタッチメント式膝継手の実用化事業



事業者：株式会社徳田義肢製作所



福祉用具実用化開発支援の開発事例紹介冊子「福祉用具の実用化を助成」を発行しています。

「福祉用具の実用化を助成」には、200件を超える開発終了、開発中の用具を掲載しています。
NEDOホームページ ホーム>NEDOライブラリ>発行物>パンフレット>福祉用具一覧
に掲載しています。(pdfをダウンロードし参照いただけます。)
http://www.nedo.go.jp/library/pamphlets/EK_201702_Fukushi.html

中堅・中小・ベンチャー企業の実用化開発を支援

⑦ 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業

中小企業等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転をうけてビジネスにつなげることや、保有する技術を橋渡し研究機関の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、自社の技術力向上や生産方法等の革新等を実現することを支援します。加えて、上述のような取組みを支援することにより、橋渡し研究機関が積極的にその機能強化に取り組むことを促進します。

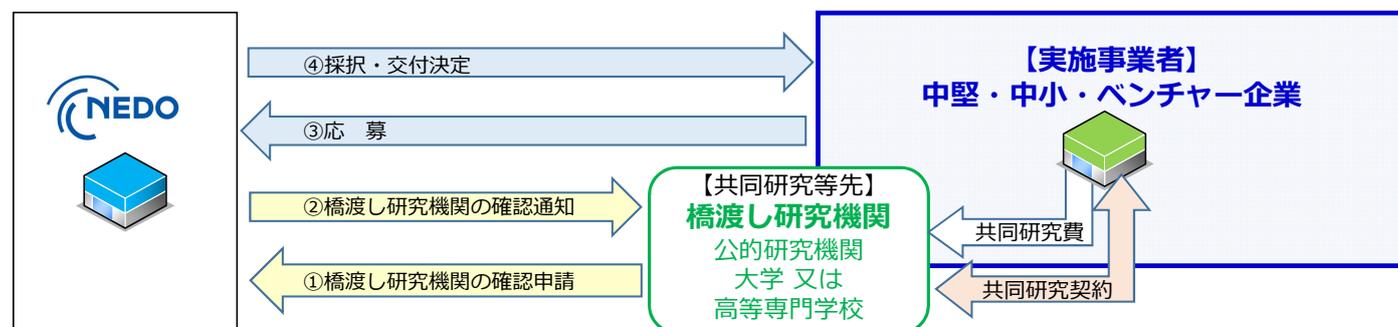
対象者	中堅・中小企業及び組合等 ①中小企業基本法で定める「中小事業者」 ②売上高1,000億円未満又は従業員が1,000人未満の企業「中堅企業」 ③「中小事業者」又は「中堅企業」としての組合等
応募要件	共同研究先に「橋渡し研究機関」を含み、「橋渡し研究機関」が研究開発の重要な役割を担うこと。
事業形態	助成（NEDO負担率：助成対象費用の2/3）
助成金額	1億円以内（下限1,500万円）／事業期間
事業期間	1年半程度（参考：平成30年度／交付決定日から平成32年2月28日まで）
対象技術	新産業の振興のためのイノベーションの創出に資する新規性・革新性の高い実用化開発で経済産業省所管の鉱工業技術（但し、原子力技術に係るものは除く）であること。
橋渡し研究機関の要件	国の研究機関、独立行政法人、公設試験研究機関に該当する日本国内に立地する公的研究機関及び大学又は高等専門学校であって、以下の5つの仕組みを有する又は構築を計画中の機関 ① 橋渡し機能（先進的・革新的技術シーズを事業化につなぐ橋渡し機能）強化の仕組み ② 民間企業からの資金受入の仕組み ③ 産業界のニーズ把握とその組織内活動への反映の仕組み ④ 技術シーズやノウハウを取り入れるための仕組み ⑤ 知的財産権の活用促進の仕組み

「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」予算額と公募情報

平成27年度 (平成26年度補正予算)	予算：14.2億円	公募（5/26～7/22）採択43件／応募162件（3.8倍）
平成28年度 (平成27年度補正予算)	予算：10.9億円	公募（3/22～5/10）採択23件／応募92件（4.0倍）
平成28年度第2回 (平成28年度補正予算)	予算：8.0億円	公募（10/3～12/1）採択17件／応募115件（6.8倍）
平成30年度 (平成30年度予算)	予算：3.0億円	公募（3/16～5/10）採択5件／応募46件（9.2倍）

●平成30年度の公募情報・公募要領・採択結果等の詳細は、以下でご確認いただけます。
 NEDOホームページ＞公募・調達＞分野別情報一覧＞平成30年度 分野横断的公募事業分野 公募一覧

【事業概念図】



「橋渡し研究機関」
 確認機関数：188機関（平成30年8月現在）

【内訳】

- ・独立行政法人：13機関
- ・公設試：54機関
- ・大学（国立・公立・私立）・高専：121機関

人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの研究開発を支援

⑧ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業

(ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成)

潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等の保有する技術シーズを活用し、人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの開発に係る研究開発の一部を支援することで、宇宙機器産業の裾野を広げると共に、人工衛星等の高信頼性・低コスト化を実現し、宇宙機器産業の競争力強化を目指す支援を実施。

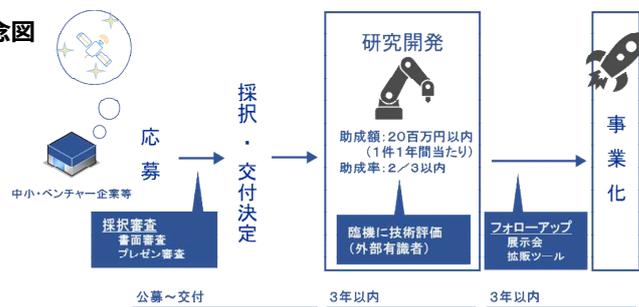
対象者	潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等※ ※中堅企業、組合等を含む（みなし大企業は除く）
事業形態	助成（NEDO負担率：助成対象費用の3分の2以内）
助成金額	1件1年間あたり2,000万円以内
事業期間	1件あたり3年以内
対象技術	人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネント開発に係る技術

想定される技術分野[例]

- バス/ミッション系機器等
- * 推進系（スラスタ等）
 - * 姿勢制御系（角度センサ等）
 - * 通信系（送受信機等）
 - * 電源/バッテリー系
 - * 構造・熱制御系
 - * 映像系（カメラ、レンズ等）
 - * その他、人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネント全般



事業概念図



「宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業（ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成）」予算額と公募情報

平成30年度	予算：約1.0億円	公募（3/8～4/16）採択6件／応募11件（1.8倍）
--------	-----------	------------------------------

Memo

リアルデータ・実証フィールドを提供する事業会社と連携するAIベンチャーを支援

⑨ AIシステム共同開発支援事業

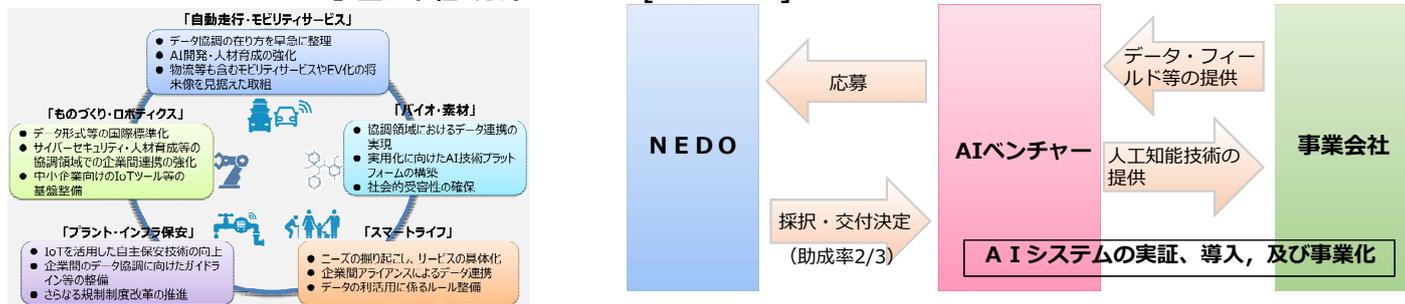
「Connected Industries」重点取組5分野において、事業会社と連携して保有する人工知能技術を活用して、AIシステムの検証等を行う研究開発型ベンチャーに対して、事業化のための助成等の支援を行います。

助成対象者※1	採択から1か月以内の時点で、国内法人の人工知能技術を有する研究開発型ベンチャーであること 例) ○独自のアルゴリズムを有するAIベンチャー ○オープンソースを活用するエンジニアリングを行うAIベンチャー
事業会社	採択から1か月以内の時点で、実証のためのデータ、フィールドを提供できる国内法人（民間企業、公共法人、大学または病院等）であること。なお、フィールドは、国内外を問わない。
助成対象者と事業会社	・ 交付決定までに、共同開発契約を締結している必要がある。 ・ AIベンチャー代表1社が申請者であれば、AIベンチャーと事業会社は複数の組合せとしてよい。
事業形態	助成（NEDO負担率：2/3以下）
助成金額と事業期間	金額：原則2億円以内/件、期間：約8ヶ月間（平成30年7月～平成31年2月20日まで）
応募要件	・ AIシステム検証等を実施する研究開発分野は「Connected Industries」重点取組5分野であること。 ・ 人工知能技術を持つベンチャーとリアルデータ・フィールド等を持つ事業会社とが連携して開発するAIシステムによって、新規性を有する事業化を提案できること。 ・ 事業終了後も継続して、異分野・海外等を含めた事業展開が見込まれること。

※1) 汎用的なAIソフトウェア開発ではなく、AIを実フィールドで利活用するAIベンチャーを重点的に支援する。

「Connected Industries」重点取組5分野

【事業概念図】



出典：「Connected Industries」東京イニシアティブ2017、経済産業省（平成29年10月2日発表）

平成30年度	予算：24.0億円	公募（3/6～4/4）採択決定24件/応募67件（2.8倍）
--------	-----------	--------------------------------

AIチップのアイデアを支援

⑩ AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業

～AIチップに関するアイデア実用化に向けた開発～

AIチップに関するアイデアを実用化するための、論理設計・回路設計等の設計及びシミュレーター・エミュレーター等による有効性の評価・検証を支援します。また、大学や研究機関等を通じて、設計・評価・検証に用いる専用の設計ツール等、開発環境も提供します。

対象者	中小企業
事業形態	助成（NEDO負担率：助成対象費用の3分の2）
助成金額	5,000万円以内/年間（2年間で1.0億円以内）
事業期間	2年間
概要	<ul style="list-style-type: none"> IoT社会の進展に伴い膨大な情報を効率的に処理するため、エッジ側での情報処理が重要視されており特にエッジ側でAIを効率的、省エネルギーに動作させるためのAIチップの開発が望まれています。 日本には、AIの知見とともに新たなビジネスを創出させるイノベーションの種を持つ中小企業等が存在しているものの、実用化に向けた研究開発では高額な設計ツール等が必要であり、これがビジネス化に向けた高いハードルになっています。 そこで本事業では、研究開発費を助成するとともに、大学や研究機関等を通じて、設計・評価・検証に用いる専用の設計ツール等、開発環境も提供し、エッジコンピューティング実現のためのAIチップの開発をサポートします。 なお、本事業ではチップの試作は必須ではありませんが、試作した場合はその費用も助成可能金額の範囲内で支援します。

開発成果の継続的なマッチング機会をNEDOホームページで提供

① マッチング スペース

NEDOホームページにNEDO事業に取り組まれた事業者（希望者）の情報発信だけでなく、NEDO事業への応募に向けた相談や支援を希望される方向けの情報、さらにNEDO事業に関係した方向けのマッチングサービスをご提供しています。

NEDOマッチングスペース : <http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>



※NEDOのメールマガジン“DAILY NEDO”で新規登録サンプルをPRします。

■ マッチング支援事業

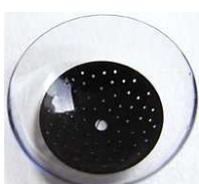
金融機関へ推薦し、出資や融資につなげてビジネス展開を後押し

② 金融マッチング

- ・ 中堅・中小・ベンチャー企業に対する事業化支援の一環として、金融機関との仲立ちを行うことによる連携支援を実施。
- ・ 資金需要のあるNEDO事業実施者を、株式会社産業革新機構（INCJ）や日本政策金融公庫（JFC）へ紹介。出資や融資につなぎ、ビジネス展開を後押しする取組を実施。



(参考) 金融マッチングによる事業化、製品化のイメージ



事例1：株式会社ユニバーサルビュー
ピンホールコンタクトレンズの商品イメージ



事例2：株式会社三次元メディア
TVS3.0のビジョンヘッドの写真例

■ マッチング支援事業

③ 宇宙ビジネス・アイデアと投資家・事業会社とのマッチングの機会を提供 宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム (S-Matching)

- NEDOは、内閣府、経済産業省、JAXAと共に、宇宙分野の新たなビジネス・アイデアを有する個人・企業等と投資家・事業会社とのマッチングを円滑化する「宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム (S-Matching)」を創設
- 本ウェブサイトを通じて、マッチングの機会を提供することで、宇宙産業競争力の底上げに貢献



新時代の宇宙ビジネスここに集う

あなたが思い描く宇宙ビジネスを投資家の支援により加速させます

「宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム (S-Matching - エス・マッチング)」は、新たなビジネス・アイデアや新事業構想を有する「宇宙ビジネス起業家」と、宇宙分野に投資意欲がある「宇宙ビジネス投資家」とのマッチングを円滑化する、マッチング・プラットフォームです。

宇宙ビジネス起業家で登録 →
宇宙ビジネス投資家で登録 →

S-Matching専用のWEBサイト ⇨ <https://s-matching.jp/>

■ マッチング支援事業

④ マッチング会を開催し、商談の機会を提供 ビジネスマッチング

イノベーション・ジャパン

2018.8.30-8.31 東京ビッグサイト

NEDOが支援する中小・ベンチャー事業者から約100社が出展し開発技術・製品等をPR。例年の来場者は約2万人、マッチングスペースでは100件を超える個別商談が行われるイベント。



TOKYOイノベーションリーダーズサミット

2017.10.23-25 虎の門ヒルズ

大企業100社と、VCなどが推薦する優良な中小・ベンチャー企業500社が参加。NEDOが推薦する中小・ベンチャー企業も多数出展。クローズドな場での商談が行われる精度の高いマッチングイベント。



NEDOベンチャービジネスマッチング会

2018.2.9 東京 2018.2.22 大阪

新工ネベンチャー技術革新事業等を終了したベンチャー・中小企業の紹介及びビジネスマッチングを図る事を目的として開催。『燃料電池・蓄電池』『太陽光発電』『バイオマス』『風力発電その他未利用エネルギー』分野の事業者が技術紹介・プレゼンテーションを実施。



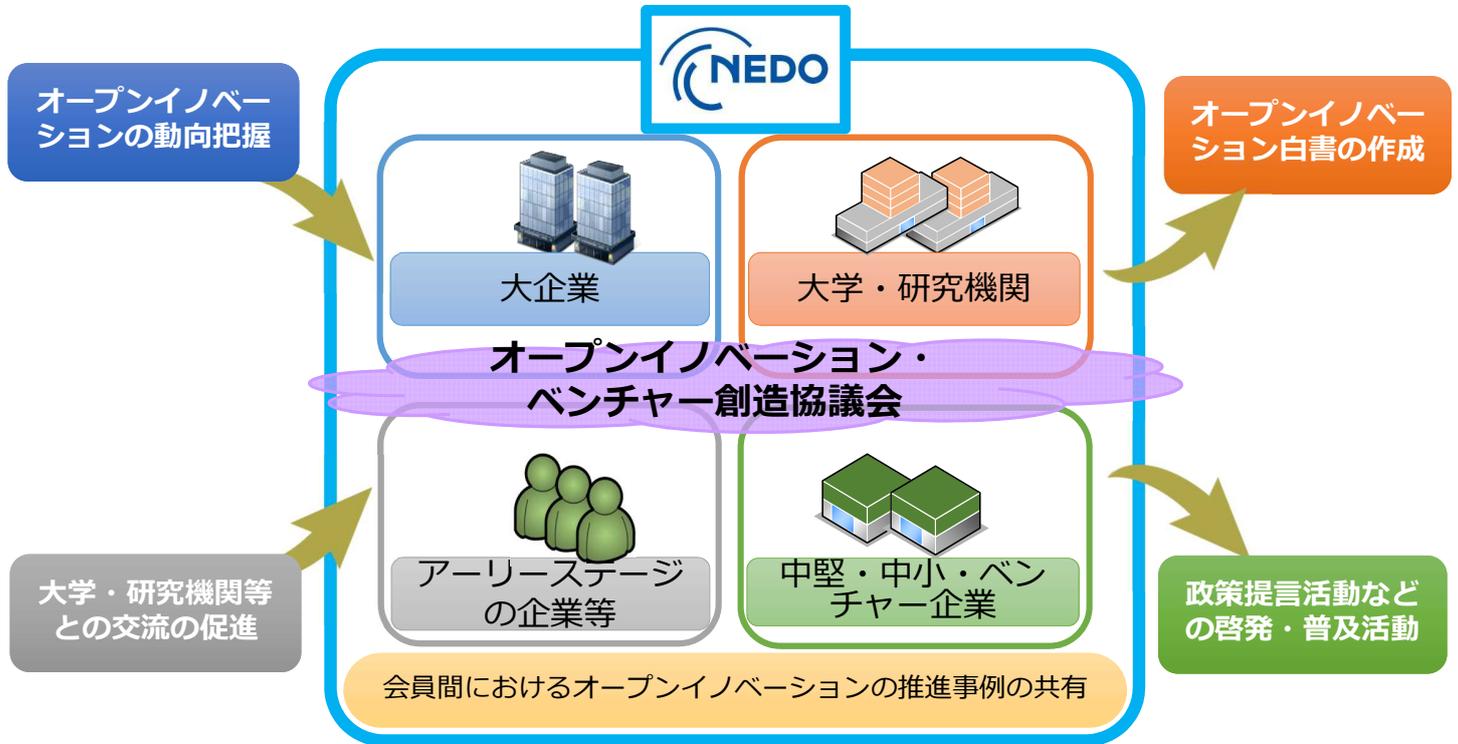
上記以外にも事業者の展示会出展をサポート

バリアフリー展 (2018/4/19-21大阪)、国際福祉機器展 (2017.9.27-29東京)

シーズ・ニーズマッチング交流会2017 (12/19-20大阪、1/16-17福岡、2/20-21東京)

- ・民間事業者の「オープンイノベーション」の取組を推進するとともに、「ベンチャー宣言」を実現することにより、我が国産業のイノベーションの創出及び競争力の強化に寄与することを目的として設立。
- ・NEDOイノベーション推進部が事務局を務め、事務局長はNEDO副理事長が担当する。

■設立:平成29年3月1日 ■会員数1,246<内訳:企業会員829大学等の賛助会員417(平成30年9月1日現在)>



活動内容

1. 普及啓発活動
2. ワークショップ(会員限定)
3. ビジネス案件創出を目指すイベントの開催(会員優先)
4. オープンイノベーション白書の作成 等

主催イベント

- ◎JOICセミナー 大規模なセミナーを、これまでに8回(他のイベントと連携を5回)実施済
【次回】イノベーション・リーダーズ・サミット「ILS」(10/22~24)で実施予定
- ◎ワークショップ 少人数でのワークショップを、これまでに12シリーズ(計19回)実施済
【次回】2018/9/26 実施予定
- ◎NEDOピッチ ベンチャー企業によるショートプレゼン会を原則毎月第4火曜日開催、これまでに25回実施済
【次回】第26回(2018/9/25) 実施予定
- ◎NEDOドリームピッチ イノベーション・ジャパン(8/30)でNEDO DreamPitch by JOIC 実施済
【次回】イノベーション・リーダーズ・サミット「ILS」(10/22~24)で実施予定
- ◎異業種交流会 異業種による交流会を、これまでに8回実施済



オープンイノベーション白書 第二版の発行

我が国におけるオープンイノベーションの取組の現状を可視化し広く共有することを目的に、関連するデータを集約し、また、既に試行錯誤を繰り返しながらオープンイノベーションによって一定の成果をあげている企業の事例等をまとめたもの。平成30年6月末に第二版を発行した。

<NEDO及びJOICのHPにてPDFファイルを掲載中>

https://www.joic.jp/joic_members/open_innovation_hakusyo

(書籍版は一般財団法人 経済産業調査会より発売中)



<参考>

◎ NEDOホームページ「研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー」ページから、当資料の最新版PDFをダウンロードいただけます。

【各事業詳細資料】
各事業をクリックいただくと、詳細説明資料や公募時期をご確認いただけます。

※本ページ下部の「各支援プログラムのご案内」に「事業内容」「公募情報（予告、公募、決定）」を集約しています。

【当説明資料】
「ベンチャー・中小・中堅企業向け支援事業の紹介」「テーマ公募事業紹介一覧」をクリックいただくと、当説明資料をご覧いただけます。

NEDOトップページ右上の「研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援」をクリック。

資料ダウンロード

ベンチャー・中小・中堅企業向け支援事業の紹介

テーマ公募事業一覧

ベンチャー・中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業について、公募の概要等1ページで簡潔にまとめ、A4サイズの冊子として提供いたします。（毎月1日毎更新予定）

ベンチャー・中小・中堅企業向け支援事業の紹介

テーマ公募事業一覧

ベンチャー・中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業について、公募の概要等1ページで簡潔にまとめ、A4サイズの冊子として提供いたします。（毎月1日毎更新予定）

イベント・公募情報の検索

◎ NEDOトップページ「公募・調達」タブから、最新の公募情報（基本計画・実施方針・公募要領）一覧をご確認いただけます。

NEDOトップページ上部の「公募・調達」をクリック！

- 「分野別情報一覧」
- 「分野横断的公募事業」
- 「公募一覧」

公募・調達

公募情報

NEDO事業の公募内容に関する

- 公募情報一覧（検索可能）
- 過去の公募情報（分野別一覧）
- 調達情報
- 入札情報一覧（検索可能）
- 入札の結果一覧

調達推進

- 随意契約に関する
- 環境物品等の調達
- 障害者就労施設等からの調達
- 中小企業者に関する契約の方針
- 競争参加者の登録情報

公募情報は（1）予告掲載日・（2）公募開始日・（3）公募締切日・（4）結果 ごとに掲載します。

事業・プロジェクト名	予告掲載日	公募開始日	公募締切日	結果
[P14004] エネルギー・環境新技術先端プログラム		平成29年 7月28日	平成29年 8月14日	
[P10020] ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業	平成29年 7月7日	平成29年 7月28日	平成29年 8月9日	
[P14002] 研究開発型ベンチャー支援事業	平成29年 6月16日	平成29年 7月9日	平成29年 8月21日	
[P14012] 研究開発型ベンチャー支援事業	平成29年 5月25日	平成29年 6月9日	平成29年 8月9日	
[P14012] 研究開発型ベンチャー支援事業	平成29年 5月17日	平成29年 6月9日	平成29年 9月22日	
[P09018]		平成29年	平成29年	平成29年

NEDOのメール配信サービスにご登録いただきますと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせを、随時メールにてお送りいたします。



行政運営の効率化を目的とした「電子政府構築計画」に基づき、NEDOの事業※への申請（応募）に当たっては、事前に府省共通研究開発管理システム（e-Rad）に登録を行い、e-RadへのログインIDとパスワードの取得をした上で、電子申請をしていただくことが必須となります。
※ 対象事業については、各事業の公募予告ページにその旨記載しますので御確認ください。

NEDO 平成30年度 テーマ公募事業一覧

事業名称		対象技術分野	事業内容	
先導研究支援	将来の国家プロジェクトになり得る革新的なシーズの発掘 新技術先導研究プログラム	エネルギー・環境 新技術先導研究プログラム	エネルギー・環境	
	新産業創出 新技術先導研究プログラム	新産業創出に結びつく産業技術分野	新産業創出に結びつく将来有望な技術シーズを発掘し、先導研究を実施することにより有望な技術に育成して、将来の国家プロジェクトに繋げていくことを目的とします。	
	従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出 未踏チャレンジ2050	エネルギー・環境	エネルギー・環境分野において、原則として産学連携に取り組む企業及び大学・研究機関等を対象に、2050年を見据えた温室効果ガスの排出削減を実施する革新的な技術・システムについて、解決すべき技術課題とそれを解決する研究開発の提案を募集します	
スタートアップ支援	大学、研究機関、ベンチャーの起業家の育成支援 研究開発型ベンチャー支援事業/TCP NEDO Technology Commercialization Program	新規性・革新性の高い技術・分野横断	技術シーズの事業化やそのプロセスに関心を有する国内の大学・研究機関等に在籍する研究員、大学院生、学部生であって、将来起業することを視野に入れている方を対象に、ビジネスプラン作成のための研修と、プラン発表の機会を提供します。	
	事業化支援人材の伴走支援による起業支援 NEDO Entrepreneurs Program (NEP)	新規性・革新性の高い技術・分野横断	技術シーズを活用した事業構想を有する起業家候補人材（個人又は研究所の研究機関等や企業等に属する者）に対し、事業化支援人材（カタライザー）による指導・助言の機会提供など、研究開発型ベンチャーを立ち上げるための活動を支援します。	
	ベンチャーキャピタル等と連携してシード期のベンチャーを支援 研究開発型ベンチャー支援事業/STS シード期の研究開発型ベンチャー (Seed-stage Technology-based Startups) に対する事業化支援	新規性・革新性の高い技術・分野横断	具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDOが認定したベンチャーキャピタル等が出資を行うシード期の研究開発型ベンチャーに対して、事業化のための助成を行います。	
	事業会社と共同研究等を行う研究開発型ベンチャーを支援 企業間連携スタートアップ (SCA) に対する事業化支援	新規性・革新性の高い技術・分野横断	具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、事業会社と共同研究等を行う研究開発型ベンチャーに対して、事業化のための助成を行います。	
	研究開発型ベンチャー支援の中核的な役割を担う専門支援人材を輩出 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)	広い知見と高い専門性を持ち、研究開発型ベンチャーの成長を伴走支援できる人材の育成を行う高度専門支援人材育成プログラム「NEDO Technology Startup Supporters Academy (SSA)」を実施します。		
実用化開発支援	再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援 ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業 (旧：新エネルギーベンチャー技術革新事業)	再生可能エネルギー等	本事業は、技術開発のステップによって4つのフェーズ（フェーズA、フェーズB、フェーズC、フェーズD）を設け、中小・ベンチャー企業が保有している再生可能エネルギー分野等の潜在的技術シーズについて、技術や事業化の面での優位性や独自性等の観点から選抜・育成し、事業化を見据えた技術開発支援を行います。また、「イノベーション・コスト構想」の推進につながる技術開発や実用化・実証研究については支援を強化します。	
	省エネルギー技術の研究開発を支援 戦略的省エネルギー技術革新プログラム	基本スキーム	省エネルギー (2030年時点で10万KL/年以上の省エネ効果)	「省エネルギー技術戦略」で掲げる重要技術を中心として、2030年に高い省エネルギー効果が見込まれる省エネルギー技術について、技術開発を支援します。
		テーマ設定型 事業者連携スキーム		
		省エネルギー技術開発事業の 重要技術に係る周辺技術・ 関連課題の検討		
	福祉用具の実用化を支援 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業	福祉用具	健康の増進、心身の機能が低下した高齢者や障害者のQOL向上に資する技術の確立を目指して、福祉用具の実用化開発を行う中小企業に対して助成を行うと同時に、福祉機器のニーズ調査や研究開発に必要な情報の収集・分析・提供を実施します。	
	中堅・中小・ベンチャー企業の実用化開発を支援 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業	新規性・革新性の高い技術・分野横断	中小企業等及び組合等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転を受けてビジネスにつなげることや、中小企業等及び組合等が保有する技術を橋渡し研究機関の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、自社の技術力向上や生産方法等の革新等を実現すること、加えて橋渡し研究機関が積極的にその機能強化に取り組むことを促進します。	
	人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの研究開発を支援 ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成	人工衛星等の宇宙用部品等	人工衛星等の高信頼性・低コスト化を実現し、宇宙機器産業の競争力強化を目指す支援を実施します。	
リアルデータ・実証フィールドを提供する事業会社と連携する AIベンチャーを支援 AIシステム共同開発支援事業	Connected Industries 東京イニシアティブ2017に示される5つの重点取組分野	事業会社と連携してAIシステム開発及びビジネス化を行う先端的なAI技術を保有するベンチャー企業の潜在力が十分に発揮出来る形で、AI技術開発を促進し、グローバル展開を見据えたデータ連携・共同事業を加速することを目的とします。		
AIチップのアイデアを支援 AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業	ネットワーク/ コンピューティング	AIチップに関するアイデアを実用化するための、論理設計・回路設計等の設計及びシミュレーター・エミュレーター等による有効性の評価・検証を支援します。また、大学や研究機関等を通じて、設計・評価・検証に用いる専用の設計ツール等、開発環境も提供します。		
マッチング支援				
開発成果の継続的なマッチング機会を NEDO ホームページで提供 マッチングスペース		研究開発型・分野横断	NEDO ホームページに NEDO 事業の開発成果等を登録し、継続的なマッチング機会を提供	

対象者等	一件あたりの助成・委託規模	事業期間	公募予告日	公募期間（予定を含む）、参考サイト、備考（過去採択率等）
------	---------------	------	-------	------------------------------

原則企業・大学等による産学連携体制	委託: 1 億円程度以内/年 ※1: 産学連携体制の例外: 大学・公的研究機関のみ 委託: 2,000 万円以内/件	原則1年以内 (最長2年) ※1 1年以内	H29/10/4	H30/2/2~H30/3/5 採択 27 件/応募 106 件 (3.9 倍) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100161.html <<備考>> RFI 提出期限 ~H29/11/13 http://www.nedo.go.jp/news/other/ZZCA_100022.html
			H30/1/5	H30/3/15~H30/4/19 採択 12 件/応募 68 件 (5.7 倍) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100165.html
※2 原則企業・大学等による産学連携体制	委託: 2000 万円程度以内/件/年	最大 5 年	H30/4/26	H30/5/28~H30/7/12 採択 4 件/応募 22 件 (5.5 倍) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100183.html ※2 大学・研究機関は 4 0 歳未満の若手研究者
企業・大学等の個人	人材育成プログラム	—	H30/5/18	H30/6/8~H30/9/14 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100185.html
事業構想を有する 起業家候補人材	委託: 原則 500 万円以内/件 (労務費は対象外)	6 ヶ月以内	H30/3/23	H30/4/24~H30/5/24 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100180.html <管理法人公募> http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100174.html
シード期の研究 開発型ベンチャー企業	2/3 以内助成: 全期間で 7,000 万円以内	1 年以内 H29 年度実績	H30/2/14	H30/7/12~H30/8/31 (前回データ H29 年度①: 16 件採択/26 件応募) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100172.html
企業間連携 スタートアップ	2/3 以内助成: 全期間で 7,000 万円以内	1.5 年以内	H30/4/2	H30/5/15~H30/6/28 (前回データ H28/10/3~H28/11/24 (H28 年補正): 13 件採択/72 件応募) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100182.html
個人	人材育成プログラム	4 か月程度	H30/8/6	H30/8/21~H29/9/20 (前回データ H29 年度) OJT 参加数 25 名/応募 72 名 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100189.html
中小企業等	フェーズ A 委託: 1 千万円以内	1 年以内	H30/4/12	H30/4/12~H30/5/24 (前回データ H29 年度①: 30 件採択/73 件応募 H29 年度②: 16 件採択/49 件応募) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100176.html
	フェーズ B 委託: 5 千万円以内	1 年程度		
	フェーズ C 2/3 以内助成: 5 千万円以内	1 - 2 年程度		
	フェーズ D 定額補助: 7,500 万円以上 3 億円以内	1 - 2 年程度		
企業・大学等 (企業必須、大学 単独の提案は不可)	インキュベーション研究開発フェーズ 2/3 以内助成: 2000 万円/件・年 ※3	2 年以内 ※4	H30/1/5	H30/2/5~H30/3/13 24 件採択/43 件応募 (インキュベーション 7 件、実用化開発 15 件、実証開発 2 件) http://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100222.html ※3 NEDO 負担率+実施者負担額 ※4 事業終了は 3 月予定 ※5 通常 2 年または 3 年。事業終了は 2 月または 3 月の予定。 別フェーズと組み合わせる場合、事業期間 1 年でも可能。 3 年の場合、2 年終了時に継続可否審査
	実用化開発フェーズ 2/3or1/2 以内助成: 3 億円/件・年 ※3	3 年以内 ※5		
	実証開発フェーズ 1/2or1/3 以内助成: 10 億円/件・年 ※3	3 年以内 ※5		
2 社以上の企業の参画 開発成果の普及を促す 体制であること。	2/3 以内助成: 5 億円/件・年 (NEDO 助成費+実施者負担額)	5 年以内	H30/1/5	H30/2/5~3/13 2 件採択/4 件応募 http://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100222.html 査
タイプ A (中堅中小企業、大学等) タイプ B (企業、大学等)	[調査等] 委託: 1 千万円以内 (基本スキーム) 又は テーマ設定型事業者 連携スキームへの応募予定者のみ申請可)	1 年以内	H29/4/28	H29/5/22~H29/6/21 6 件採択/16 件応募 http://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100207.html
中小企業等	2/3 以内助成: 年間 2,000 万円以内 ※6	3 年以内	H29/1/22	H30/3/7~H30/4/19 (前回データ: 4 件採択/28 件応募) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100166.html ※6 大企業の出資比率が一定比率以上の事業者は 1/2 以内助成
中堅・中小・ベンチャー 企業及び組合等 ※7	2/3 以内助成: 全期間で 1 億円以内 (下限 1,500 万円)	2 年以内	H30/2/15	H30/3/16~H30/5/10 5 件採択/46 件応募 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100171.html ※7 ただし橋渡し研究機関との共同研究等が必要
中小・ベンチャー企業等	2/3 以内助成: 年間 2,000 万円以内	3 年以内	H30/2/2	H30/3/8~H30/4/16 採択 6 件/応募 11 件 (1.8 倍) http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100170.html
A I ベンチャー企業	2/3 以内助成: 原則 2 億円以内/件	※8 約 8 ヶ月間	H30/1/15	H30/3/6~H30/4/4 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100167.html ※8 平成 30 年 7 月~平成 31 年 2 月 20 日まで
中小企業	2/3 以内助成: 年間 5,000 万円以内	2 年	H30/6/11	H30/7/23~H30/9/3 http://www.nedo.go.jp/koubo/IT1_100050.html
NEDO 事業者	ホームページ掲載			随時受付中: イノベーション推進部 総括グループ TEL: 044-520-5170 FAX: 044-520-5177

人、制度が寄り添う支援を目指して



NEDOは、皆様の優れたアイデア・技術を活かして、ともに日本の未来を創るイノベーションを起こしたいと考えております。ぜひNEDOのテーマ公募事業にご応募ください。

NEDOは、産学官一体で産業技術力の強化とエネルギー・地球環境問題の解決を目指しています。

NEDOは、全国の民間企業、大学及び公的研究機関等の持つ様々な技術シーズや技術開発能力を活用し、事業化に結び付けることが、世界における日本の競争力強化の鍵だと考えています。

NEDOは、産業技術分野、エネルギー・地球環境分野において、創造的で独創的な研究開発に取り組む方々のために、シーズ発掘から実用化まで様々なフェーズで幅広い支援を行っています。また、各種マッチングイベントにもご参加いただけます。皆様のご提案からイノベーションを起こすためにも、ぜひ積極的にご応募ください。

NEDO公募事業についてのご質問やご意見はNEDOテーマ公募事業担当がしっかり対応いたしますので、お気軽にお問合せください。
NEDOテーマ公募事業担当 一同



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

New Energy and Industrial Technology Development Organization

本部：〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアム川崎セントラルタワー（総合受付16F）

- イノベーション推進部 TEL：044-520-5170 FAX：044-520-5177
E-mail：inv-caravan@nedo.go.jp
- 省エネルギー部 TEL：044-520-5180 FAX：044-520-5186
- IoT推進部 TEL：044-520-5211 FAX：044-520-5212

関西支部：〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワーC 9F
TEL：06-4965-2130 FAX：06-4965-2131

<当資料に関するお問い合わせ先>

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

イノベーション推進部 総括グループ TEL：044-520-5170 FAX：044-520-5177 E-mail：inv-caravan@nedo.go.jp